

ちゅうおうライブラリー インフォメーション

中央市立図書館 平成27年6月発行

情報化社会と図書館

中央市教育委員会 教育長 田中 正清

「情報化社会」と言われる現在、図書館においてもその恩恵を多く受けています。何かの本を探す際は、本の書名や著者名やキーワードを入力するだけで、検索ができ、今、図書館で多く読まれている人気の図書などの情報も手軽に入手できます。さらに、その作業は、インターネットを通じて自宅に居ながらでき、貸し出しの予約もできます。

最近では電子ブックとして手元のスマホやPCに、多くの本を入力して持ち歩き、ディスプレイ上で次から次へとページをめくりながら読むことができます。また、多くの情報をインターネット上から入手するなど、情報化の恩恵を日々受けています。

しかし、情報化社会だからと言って、図書館の機能が低下したり、その必要性が低下するものではありません。「本物を見る、最良のものに触れる」ということと、「画面を通してみる」ということの間には、目に見えないとても大きな隔たりがあると思えます。

情報化社会だからこそ、情報の宝庫である図書館の役割は、ますます増大します。今後も、中央市の図書館が乳幼児からお年寄りまで、すべての年代のあらゆる市民の皆さまにとって、満足のいく図書館を目指して欲しいと思います。



Menu

- ・ 情報化社会と図書館 P1
- ・ 図書館からの子育ての応援 P2.3
- ・ 予約が多かった本 P4
- ・ 図書館の運営を支えるボランティアの活躍



図書館からの 子育ての応援

中央市では、生涯にわたって読書に親しむまちづくりをめざして「中央市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもと本との出会いの機会を提供しています。

《 母親学級 》

年4回妊婦さんへ、健康推進課の母親学級で絵本の読み聞かせの大切さの説明と、絵本や子育てに参考になる本の紹介をします。



《 ブックスタート 》

健康推進課の生後7ヶ月健診の赤ちゃんへ、すこやかに成長することを願って、絵本を手渡します。



《 新入生ブックプレゼント 》

市内の小学1年生へ、読書に親しむきっかけとなるような1冊の絵本を贈ります。



《 中1ブック便 》

市内の中学1年生へ、学級文庫として市立図書館の本を貸出し、身近に本がある環境づくりの応援をします。

《 卒業生ブックプレゼント 》

市内の中学3年生へ、義務教育の終了を祝って、人生をより豊かなものにすることを願い、心の糧となる本を贈ります。

子育てに参考になるおすすめ本

『子どもはみんな問題児。』 中川李枝子 著

安心して子育てができる方法とは……。子育て中のお母さんに向けて、愛情いっぱいの内容です。

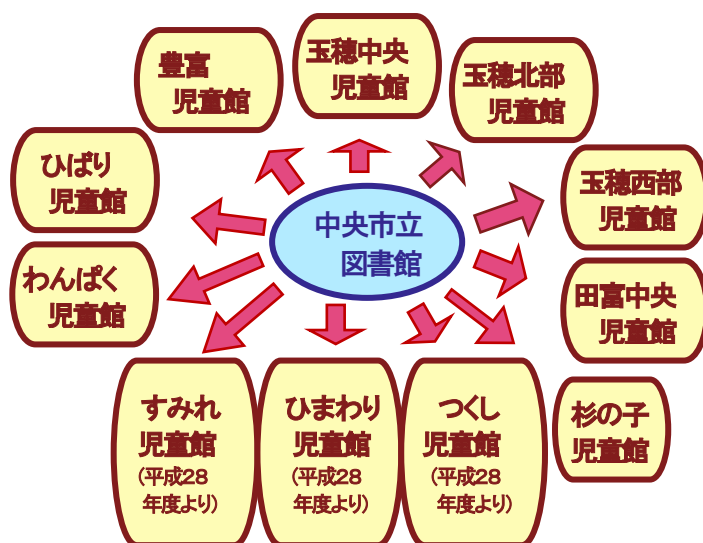


『子育てハッピーアドバイス 笑顔いっぱい 食育の巻』 松成容子・明橋大二 著

少し工夫した料理を作って、子どもと一緒に笑顔になれる本です。



市内の児童館に本の宅配



2ヶ月に一度、市内の児童館に、読みもの、工作、図鑑など、子どもたちが好きな本を100冊ほど届けています。子どもたちも新しい本が届くのを楽しみにしてくれています。

山梨大学医学部付属病院小児科病棟にも本の宅配

小児科病棟にも毎月1回100冊、また外来（小児科・耳鼻科）には隔月で絵本等の貸出をしています。

市内の保育園児へのおはなし会

絵本の読み聞かせやわらべうたなどで楽しめます。

〈玉穂生涯学習館〉

★玉穂保育園

〈田富図書館〉

★田富北保育園
★田富第1保育園
★田富第2保育園
★田富第3保育園

〈豊富図書館〉

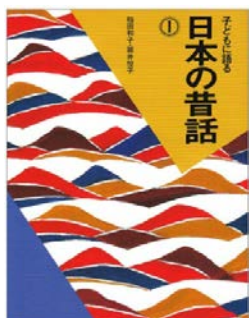
★豊富保育園

* ご家庭におはなし会の内容がわかるように、園児にプログラムを渡しています。



『子どもに語る
日本の昔話』
稲田和子・筒井悦子 著

素朴であたたかみのある昔ばなしを親子で楽しめます。



子育て支援コーナー(仮)の設置

～ 図書館もあなたの子育て応援隊です ～

子どもに読んであげたい本や子育てに役立てていただけるような本のコーナーの設置を計画しています。

(平成27年9月より市内3館で設置予定)



『村上海賊の娘 上下』

和田竜 新潮社



昨年度の本屋大賞
受賞作。史実をつま
く入れた歴史小説。

『白蓮れんれん』

林真理子 中央公論社



昨年の朝ドラ「花
子とアン」で一躍話
題本になりました。

『サラバ 上下』

西加奈子 小学館



直木賞受賞作品で
す。受賞後、予約が
殺到しました。

『銀翼のイカロス』

池井戸潤 ダイヤモンド社



昨人気だった半
沢直樹シリーズの原
作。これは第4弾！

『アイネクライネ・ハナト
ムジーク』伊坂幸太郎 幻冬舎



それぞれの短編
6編が、最後に一つ
の物語になります。

『豆の上で眠る』

湊かなえ 新潮社



現在と過去をクロ
スして、失踪した姉
の謎を追います。

『虚ろな十字架』

東野圭吾 光文社



表紙の富士の樹海
の絵に、読後は納得
するでしょう。

『満願』

米澤穂信 新潮社



山本周五郎賞など
複数の賞を受賞しま
した。短編集です。

『マスカレード・イブ』

東野圭吾 集英社



同じ著者の『マス
カレード・ホテル』
の前日談です。

予約をしてくださった方は、借りるまでに、大変、お待たせしました。

図書館の運営を支えるボランティアの活躍

「ひだまり」代表

薬袋 壽子さん

「ひだまり」は中央市の誕生と共に出発したボランティアグループです。豊富図書館を中心に「ひだまりのように！！」を合言葉に活動しています。

主な活動は、毎月第一土曜日の定例会と第四土曜日お話会「モモ」です。お話会「モモ」は、3才から8才位のお子さんを対象に絵本の読みきかせ・紙芝居・手あそび・わらべうた等をしております。その他、小学校低中学年の児童を対象にお話会を年2回しています。3月末の春休みは春らしい明るい内容のものを夏休み初めの7月には、ちょっとこわい内容のものを取り上げています。

また、小学校の「新入生ブックプレゼント」の時や朝読書の時間には、絵本の読みきかせをしています。他に、市内の図書館のイベントへの参加をさせて頂いています。

